

フジフィルム・ダイオシンス・バイオテクノロジーズ 米政府より新型コロナウイルス感染症ワクチン候補の原薬製造を受託 米国テキサス拠点での生産を決定

2020年7月28日

FUJIFILM Diosynth Biotechnologies

富士フィルム株式会社(社長:助野 健児)の子会社で、バイオ医薬品^{※1}の開発・製造受託会社(CDMO)^{※2}であるFUJIFILM Diosynth Biotechnologies(フジフィルム・ダイオシンス・バイオテクノロジーズ、以下 FDB)は、新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)ワクチン候補の原薬の製造受託を拡大します。既に、COVID-19 ワクチン候補の原薬を製造している米国ノースカロライナ拠点に続き、米国テキサス拠点でも同ワクチン候補の原薬製造を開始する計画です。

米国政府は、現在 COVID-19 ワクチン・治療薬の開発を目的として立上げた官民連携プロジェクト「Operation Warp Speed」^{※3}(以下、OWS)を推進する中で、数々の同ワクチン開発に対する支援など、早期供給を目指した取り組みを加速させています。

FDB は、30年以上にわたる受託実績、高度な生産技術や最新設備を有した、バイオ医薬品のCDMOです。ホルモン製剤や抗体医薬品、遺伝子治療薬、ワクチンなどあらゆる種類のバイオ医薬品の生産プロセスを開発し、少量生産から大量生産、原薬から製剤・包装までの製造受託に対応できる強みを活かして受託ビジネスを拡大。既に COVID-19 の治療推進プロジェクト「COVID-19 Therapeutics Accelerator」^{※4}より COVID-19 治療薬のプロセス開発・製造を受託することを決定しています。また本年7月には、米国バイオテクノロジー企業 Novavax, Inc.(以下、ノババックス社)から、2020年秋に計画されている最大30,000人規模の臨床第Ⅲ相試験に向けた、COVID-19 ワクチン候補「NVX-CoV2373」の原薬製造を受託し、米国ノースカロライナ拠点にて「NVX-CoV2373」の原薬製造を開始しています。

今回、FDB は、OWSの一環として、COVID-19 ワクチン候補原薬の大量生産ニーズに対応すべく、米国テキサス拠点の一定レベルの製造キャパシティを米国保健福祉省傘下の生物医学先端研究開発局(以下、BARDA)^{※5}のために2021年末まで確保する契約を締結しました。今後、BARDAより製造設備拡張を含めた約270億円の拠出を受け、ノババックス社を含む、OWSが支援するCOVID-19 ワクチン候補の原薬製造を米国テキサス拠点で行っていく計画です。

米国テキサス拠点は、BARDA からバイオテロや新型感染症によるパンデミックなどの非常時に、公共の健康を守るための医療手段を開発・製造する重要拠点「Center for Innovation in Advanced Development & Manufacturing」の1つとして指定されています。

FDB は、COVID-19 のワクチンや治療薬の開発が進展する中、顧客ニーズに合った高品質なバイオ医薬品を迅速かつグローバルに供給し、COVID-19 の感染拡大の抑止や流行の終息に貢献していきます。

※1 低分子医薬品では実現できない作用を持つ、たんぱく質などの生体分子を活用した医薬品。インスリンや成長ホルモンの他に、ワクチン、抗体医薬品、遺伝子治療薬などを含む。

- ※2 Contract Development & Manufacturing Organization の略。薬剤開発初期の細胞株開発から生産プロセス開発、安定性試験、治験薬の開発・製造、市販薬の製造までの幅広いサービスを製薬企業などに提供する。
- ※3 米国政府が、COVID-19 のワクチン・治療薬の開発を迅速かつ大規模に行うことを目的として立ち上げた官民連携プロジェクトで、複数の製薬企業などに助成を行っている。
- ※4 ビル&メリンダ・ゲイツ財団がウェルカム財団や Mastercard と立ち上げた COVID-19 の治療推進プロジェクト。本プロジェクトは、COVID-19 に対する治療薬やワクチンの迅速な開発・製造を支援するもの。
- ※5 アメリカ合衆国保健福祉省傘下の組織。生物兵器や新型感染症などの緊急事態に備えて、必要な製品を開発および供給することを目的とする。

本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します

【報道関係】 富士フイルムホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ TEL 03-6271-2000